



令和2年 郡上市成人式

1月12日(日)、「令和2年 郡上市成人式」が郡上市総合文化センター(南部会場)および白鳥文化ホール(北部会場)において挙行され、430人(南部180人、北部250人)のみならず、晴れて成人を迎えられました。

第1部の式典では、各中学校の代表が希望に満ちた「誓いの言葉」を述べました。第2部では会場ごとの実行委員のみなさんが企画した「恩師からのメッセージ披露」・「抽選会」・「ビンゴ大会」が行われ、会場は盛り上がりました。また、最後には「思い出のライドショー」が行われ、中学校時代の思い出を振り返りながら、喜びと笑顔の溢れる式典となりました。



■ 南部実行委員会

南部実行委員会は、新成人12人(八幡中2人、八幡西中2人、郡南中1人、明宝中3人、郡上東中4人)により構成され、記念品の選定、アトラクションの企画、会場の飾りつけ、案内状の送付作業、配布物の袋詰め、当日の運営を行いました。

● 実行委員長 細江^{ほそえ}太平^{たいへい}さん(八幡町)に感想を聞きました



成人式を無事に終えることができ、ほっとしています。今回は令和初の成人式であり、このタイミングで実行委員長ができたことは、とても貴重な経験になりました。久しぶりに会う仲間もいて、自分自身とても充実した時間を過ごすことができました。大人の仲間入りをし、成人として責任を背負うこととなりますが、郡上で生まれ育ったことに感謝と誇りを持ち、夢や目標に向かって頑張っていきたいです。

● 成人式終了後、実行委員にアンケートなどで感想を聞きました

「みんなで考え企画できて楽しかった」「成人式を成功させることができ本当によかった」「みんなと更に仲良くなれて嬉しかったし、楽しかった」「企画や運営は楽しくて、やってよかった」など、新成人による企画運営に満足感を得られた意見が多く聞かれました。

今年の実行委員会は12人と少数でしたが、その分まとまりがあって、仲良く和気あいあいと進めることができました。9月から月1回会議を重ね、案内状送付作業や、アトラクションの内容の相談等、様々なことを検討しながら役割分担し、前日のリハーサルから当日の運営まで積極的に取り組んでいただきました。





■ 北部実行委員会

北部実行委員会は、新成人16人（大和中学校7人、白鳥中学校7人、高鷲中学校2人）により構成され、記念品の選定やアトラクションの企画、案内状のデザイン依頼や送付作業、配布物の袋詰め、当日の運営などを行いました。

● 実行委員長 にしむら ゆうき 西村祐紀さん（大和町）に感想を聞きました



今回、成人式の実行委員長を務めさせていただいた経験は自分にとって一生の宝物です。また、成人式を無事成功させることができたのは、実行委員のみんなのおかげです。なかなか内容が決まらず不安になることもありましたが、みんなで考え、助け合いながら当日を迎えることができました。成人式をより良い思い出にしてほしいという実行委員の願いは、新成人にもしっかり届いたと思います。来年成人式を迎えるみなさんも、ぜひ実行委員会のメンバーとなって、思い出深い成人式を創り上げてください。

● 成人式終了後、実行委員にアンケートなどで感想を聞きました

「みんなと一緒にだったので楽しく成人式が迎えられました」「新成人が主体となり盛り上げることができて楽しかった」など、新成人による企画運営で出席者が楽しんでくれたことに対する感想が聞かれました。

実行委員会では案内状・しおりのデザインや動画を作成、「ピンゴ大会」「思い出のスライドショー」をはじめとする内容について計画し、会議は4回を重ね、毎回熱心な検討が行われました。本番は出席者も喜んでくださり達成感と充実感のあった一日となったと思います。



新成人「誓いの言葉」

※各中学校代表による誓いの言葉の内容の一部を要約して紹介します。



なかがみ ふうか
仲上 風花さん
八幡中学校代表



いのまた ゆきな
猪俣 佑紀菜さん
八幡西中学校代表



みずたに はるな
水谷 春菜さん
郡南中学校代表



やまだ しの
山田 詩乃さん
明宝中学校代表



かわしり なつみ
川尻 奈津紀さん
郡上東中学校代表

いく毎日ですが、信頼され、人に寄り添うことのできる看護職に就けるよう精進していきます。

私は大学に入学してから、長期休暇を利用し13カ国を旅しました。各国では、さまざまな生活水準や文化の中で生活する人たちに出会いました。人との出会いや関わりの中に、悩むことや苦しむこともありましたが、しかし、私は悩みや苦しみからもっと良くしたい、成長したい、変わりたいと願い、実際に変わる意志を持ち続けています。

これまでの人生の大半を過ごしてきた郡上で、今の自分の土台を作りました。私のやりたいことをいつも一歩下がって見守ってくれた両親のおかげで、自分の人生を自由に、力強く生きられる20歳になりました。学校や習い事、郡上おどりなどでの多くの出会いから、自分とは違う考え方、生き方を認めることができるようになりました。郡上を離れながらも、私は、ここでの思い出に支えられて日々を過ごしています。

私は大学で、毎日看護について専門的な知識や技術を学んでいくなか、ある疑問を抱いています。それは「生きるとは何か」ということです。この問いに対してたくさん考えましたが答えは出ていません。このように「自分の頭で考える」という姿勢は、私の出会った多くの先生が共通して話されていました。情報が錯綜し、何が本当かわからない時代の中、考えることで疑問を持ち、そのことがこの世の中を少しずつ良くしていく種になるのではないのでしょうか。どんなに微々たることでも一人ひとりが考え続けていくことが何よりも大事だと私は多くの先生から学びました。この学びを生かして、自分なりの思いとして、看護とは何か、その人らしく生きていくことを支えるとはどういうことかを考えていきたいです。授業に、課題に、実習に、目まぐるしく過ぎて

大学で学んでいる看護の課題の中で、地元地域の保健行事について調べる機会がありました。その課題を通して、私は郡上市の「健康福祉推進計画」を知りました。市民の意見を取り入れ、市民の健康に対する積極的な参加に重点を置いており、策定委員会では医師や自治会代表などの意見も取り入れて、非常に健康に対する体制が整っていると感じました。これからさらに高齢化が進み、医療費が増えることを考えると、病気の予防や健康管理がかなり大切となってきます。だからこそ、郡上市の健康福祉推進計画は今の時代に合った素晴らしい計画だと思いました。地域の健康を支える体制が整った素晴らしい郡上市をとて誇りに思っています。

私は、高校卒業後、郡上市を離れて山口県の大学へ進学しました。大学生生活を送る中で、同じ分野で学業に励む仲間や、サークル活動を通して共に高め合うことのできる仲間と出会い、今では充実した学生生活を送っています。

私は高校を卒業してから、岐阜市にある専門学校に入って公務員試験の勉強をし、4月から岐阜県職員として働いています。可愛がってくれた先輩、話が合う同期、いろいろなところから来た人たちと出会うことができました。中でも、郡上市出身の人とはすぐに仲良くなる感じが思えました。それだけ郡上の人は接しやすく、良い人ばかりだと気づき、自分自身も郡上出身でよかったと感じました。

生まれ育ったこの町が恋しく、もう一度あの町に戻りたい、懐かしい仲間たちに出会いたいと強く思うこともあります。

しかし、その仲間たちも、学業や仕事などそれぞれ違う形ではありませんが、新たな気持ちを抱き、自分の夢に向かって前進していると思うたびに、私自身も夢に向かって頑張ろうと思うことができます。そんな仲間たちを大切に、離れ離れではありますが、先もずっと繋がっていきたいと思います。

私たちは、「令和」という新しい時代になって初めての成人式を迎えました。そして、一人の大人として社会に足を踏み入れていくこととなります。これからは、その新たな時代の社会を担い、先頭に立って引張っていく一員として、相応しい立派な大人になりたいです。

生まれてから20年、私はいつも周りの人に支えられて生きているのだと、大人になって改めて思います。中でも、私の家族はどんなときでも味方でいてくれて、陰で支えてくれました。厳しく言われたことも私を思ってくれてくれたことであまり、ちよっとしたことでも心配してくれていたのは、家族の愛なのだと感じました。

改めて、今日まで温かく見守ってくれた家族、また指導いただいた先生や地域のみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、これからこの誇りを胸に立派な看護師になるため精進し、また、さまざまなことに挑戦して自分の視野を広げていきたいという希望を持ち続けることを約束して、誓いの言葉とします。

私は、これからこの誇りを胸に立派な看護士になるため精進し、また、さまざまなことに挑戦して自分の視野を広げていきたいという希望を持ち続けることを約束して、誓いの言葉とします。

私は、これからこの誇りを胸に立派な看護士になるため精進し、また、さまざまなことに挑戦して自分の視野を広げていきたいという希望を持ち続けることを約束して、誓いの言葉とします。

私は、これからこの誇りを胸に立派な看護士になるため精進し、また、さまざまなことに挑戦して自分の視野を広げていきたいという希望を持ち続けることを約束して、誓いの言葉とします。

私は、これからこの誇りを胸に立派な看護士になるため精進し、また、さまざまなことに挑戦して自分の視野を広げていきたいという希望を持ち続けることを約束して、誓いの言葉とします。



おくだ たすく
大和中学校代表

私は大学で歴史や民俗、地域文化、現代社会の問題について勉強しており、将来は教員を目指そうと考えています。教員として社会科を学ぶ意義を伝え、広めていく手だてを考えるとともに、社会を背負う、守る、変える主体をどう育てるかを研究しています。このことが小さな積み重ね、そして自分にできる役割だと考えています。



たかせ ひゅうが
高瀬日向さん
白鳥中学校代表

しかし、教員を目指そうにも自分一人の力では達成できないこともあります。さまざまなことを達成するうえでは仲間が大切になります。同じ郡上という地で生まれ、育った仲間たちはかけがえのない存在です。そんな仲間とともに切磋琢磨し、この日本、そして、郡上をより良いものにしていきたいと思っています。

私は、高校卒業後、郡上市役所に就職しました。公務に携わる中で、

公務員とは全体の奉仕者であるという責任を伴っており、学生との違いを感じます。ただ、周りの支えもあり、仕事を頑張り続けられることに感謝し、初心を忘れないことも大切にしています。

また、私が高校から続けているスポーツとして相撲があります。私は、春から秋にかけて、郡上市の相撲クラブに指導者兼選手として通っています。郡上市で盛んなスポーツとして相撲は有名なので、競技を通じてさらにさまざまな人に、郡上市の良さを発信できたら良いと考えています。これからの郡上市を担う人材として精一杯頑張っていけたらと思います。



もり なみ
森菜実さん
高鷲中学校代表

私は、学校での活動としてマラソン大会のボランティアに参加しました。そこでは、地域のみなさんとたくさんコミュニケーションをとりました。地域の温かい雰囲気やみなさんの笑顔を見て、地域一丸となって協力すること、声を掛け合いながら支え合うことの大切さを学びました。人と人が直接コミュニケーションをとることを大切に、自分の意思をしっかり持って行動し、自分の信

じる道を一步一步確実に歩んでいきます。

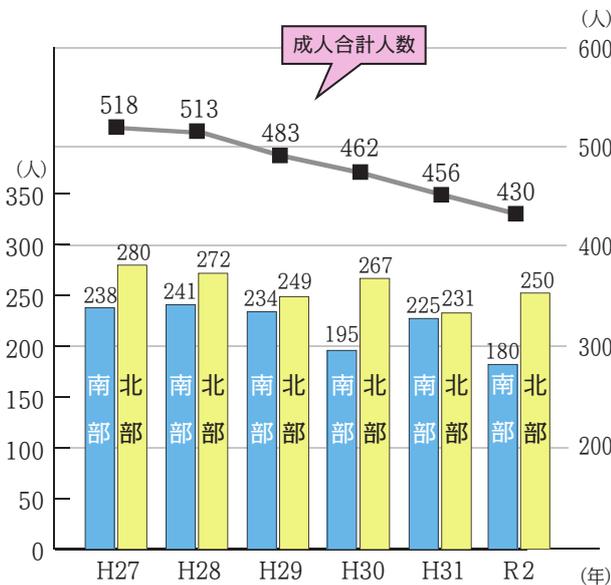
4月から国家公務員の一人員として働きます。地域のみなさんのために、正しい世の中をつくる力となっていきたいです。また、社会人として働くということは、学生の頃とは違い、大きな責任が伴います。自分自身の裁量を的確に判断した上で業務に取り組み、それを超える内容は周りの仲間や先輩の手を借りながら日々成長していきます。社会に出ても自分の輝きを忘れず切磋琢磨していくことを誓います。

新成人のみなさんに記念品をご寄贈いただきました



● 国際ソロプチミスト岐阜-郡上様 『エコバッグ』(右)
● 郡上地区交通安全協会様 『LED ミニライトと冊子』(左)

◆今年の新成人は430人
(男222人、女208人)



◆新成人に現在の状況と郡上市で生活することについてのアンケート調査を実施しました

